

平成18年度 7号
2006年 11月1日

住み良い町づくりへ
ご意見・情報をお寄せくだ
さい。

元気！緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
発行人:多田 喜代則
編集:文化部会
投稿お届け先:芥見東公民館ポスト

健康ウォーキング大会は5/12日(日)です

ふるさと探訪を兼ねて、歩きませんか！

9時、東小へ弁当持参でお集まりください(事前申込み不要)。豚汁が出ますよ。参加記念品もあります。

主催:青少年育成市民会議・体育振興会

《ヒヤリ・ハット!》運動について

——芥見東連合会会長・多田 喜代則

私たちの日常生活で何よりも大切なもの、それは「安全と安心」ではないでしょうか。

ひと昔前まで、この「安全と安心」は、当たり前どころかから授けられるものと思っていました。ところが近年、物騒な事件・事故が相次ぎ、これらを取り戻すことが急務となってきました。

そこで、岐阜市は、「ヒヤリハット・バリアフリー対策事業」を創設しました。これは、地域住民が、防犯や交通安全上の危険箇所、バリアー・フリー化すべきところを洗い出し、行政と共にこれらの解決を図り、住民同士も危険情報を共有しようというものです。



これを受けて、当地域も9月末に、「芥見東地域くらしの安全を守る会」を発足させ、自治会や小中学校、各団体が一緒になって、実情の把握、調査や「ヒヤリハット」マップの作成に取り組み始めました。

このマップは、完成しましたら、全戸に配布しますので、各ご家庭でも、これを見て、「安全と安心」の確保に取り組んでいただきたいと思います。 □■

《社協》近隣助け合いの標語を選考中

84点の応募がありました。入選作品の発表と記念講演「北山団地 向こう三軒両隣会—古瀬浩平氏」は、19日(日)午後1:30～、芥見東公民館で。ぜひご来場ください。(協賛:芥見東自治会連合会)

《東中》空き缶リサイクルにご協力を

今月の回収は20日(第3月曜)、中学生のお宅まで(分らない場合は、自治会長にお尋ねください)。

高齢者福祉大会が開かれました

——社協支部長・五十川 勝也

10月22日、150名が参加。この催しは、高齢者を対象にして、金婚式を迎えられた方々(市内で900余組、当地域は14組)をお祝いしたり、住み慣れた地で健やかに生きるためのヒントを得る場です。

楽しい講演もありました。さわ経営研究室の澤先生(ご自身も70歳)による「感動『新』時代」。法隆寺を建てたのは誰?狐や狸は何類?などいくつかの面白いパズルを例に、頭を柔らかくすること、そして、閉じこもらず行動範囲を広げ、感動(気づき)の心を失わないことが元気で長生きする秘訣と説かれました。

そのあと、大洞舞踊同好会の新舞踊、藍川東中生のハンドベル、サングリーン・クラブの合唱と、地域の皆さんの熱演を楽しみました。

市民運動会を終えて

——連合会副会長・杉山 利久

当日は、あいにくの天気に見舞われましたが、会場や設備・器材の世話を懸命にしてくださった東小の諸先生方、防災デモで頼もしい活動ぶりを披露された消・水防団の方々、運営のお手伝いにと35名もの生徒さんを派遣くださった東中の諸先生・生徒会の皆さん、お弁当や飲み物の販売を助けていただいた子ども会や赤十字奉仕団の皆さん、行き帰りの安全を守ってくださった交通安全協会の方々、救護班の和田先生方、祝賀へりを飛ばしてくれた新聞店の方、雨にも負けず進行役を果たしてくれた体育振興会の皆さん、そして各支部の役員さん、ありがとうございました。

後日談ですが、干しておいたテントを東小・高学年の皆さんが総出で片付けてくれました。

おかげさまで、楽しく、和やかに、無事、大行事を終えることができました。 □■

岩井山・延算寺に文化財を訪ねる・・・

バス・ツアーがあります。25日(土)午後1:30に東公民館へお集まりください。(主催:芥見東公民館)

お断り。これまで自治会だよりで5日開催と
お伝えしましたが、変わりました。

配布

- 大洞 4-78
- 東山 3-55
- 北山 38-373
- マモ 6-86
- 桜台 23-338
- 桜市 41-309
- 柏台 31-340
- 柏市 26-220
- 桐丘 23-202
- 桐市 6-47
- 紅葉 21-270
- 紅市 16-144
- 桜2P 1-25
- 計 239
- /2487

子どもからの伝言①

——芥見東小6年・佐藤 慎太郎さん（北山支部）
小学生最後の運動会で、僕は選手宣誓をしました。大勢の人が見ていてとても緊張したけれど、終わったときは拍手をしてもらえてとても嬉しかった。

借り物競走などしか出れなくて少しさみしかったです。自分の地区の人が種目に出るときはちゃんと声えんを送っていて、勝った時の喜びを分かち合えたのでよかったです。

優勝できなくても小学生最後の市民運動会はとてもよい思い出となりました。南自治会の人たちも出たらもっと楽しい会になった、と思いました。



北山支部を代表して元気よく宣誓しました

子どもからの伝言②

——芥見東小6年・鈴木 美乃里さん（北山支部）
私は、市民運動会を通し、一つ、とても良かったなあ、と思いました。それは「ふれ合う」ことでした。

大人と中学生の人が綱引きをしたり、3世代ランド・ゴルフで20代～60代の人がいっしょにゴルフをしたり……。いつもしゃべったりできない人とでも、協力して競技に参加したり、勝ったら自然に喜び合ったり……。とたくさんふれ合うことができました。

市民大運動会では、いつも「ふれ合う」ことのできない人と「ふれ合う」ことができるので、これからも続けていってほしいと思っています。



東中生と大人の2本勝負は引き分け！

市民運動会を振り返っ

予報氏も想定外の傘を持ち—とき

——柏台市営支部の方から
市民運動会のリレーに出る人が少なく、役員が選手を一生懸命集めている姿に感動しました。

さらに、途中から雨が降ってきたのに、子どもたちも大人も帰らずに最後まで頑張っているのを見て、色々言われるけれどまだまだ希望の持てる運動会だ、と思いました。

足が悪く、歩くこともままならぬ私ですが、楽しい思い出になりました。ありがとうございました。

大人からの伝言②

——柏台市営支部の方から
運動会に初めて参加しました。役員として、前日の準備に精を出し、当日、開会式での「君が代」が全身に響いた時は、ああ、日本人で良かったと、嬉しく思いました。

出場選手の中には、競技は無理、という方もいて、点数云々でなく大勢でできる、誰でも参加できる種目がたくさんあるといい。老若問わず「集う楽しさ」を味わえる運動会に変われたら、と思いました。

頼もしかった消防・水防団の皆さん



支部長会での意見から

- ・選手集めに困った。特に女性が集まらない。朝から得点種目があると、人集めにヤキモキ。
- ・来場者は結局、選手と役員が大半。夏祭りや違い、遊びに来る人が少ない。また、その種目・競技だけ出て帰る人も多かった。
- ・高齢化に伴い、競技というと、皆尻込みする。一人で何役もやってもらったりする。玉入れなど、競技よりも皆で楽しめる種目を増やして欲しい。
- ・午前には楽しめる種目、午後から得点競技を。
- ・雨には柔軟に対応を。抽選会も一考を要する。
- ・選手宣誓を子どもさんにやってもらい、好評。